



# 第124期 株主通信

2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

## 私たちのミッション

技術力で価値を創造し、  
より豊かな社会の発展に貢献する。

私たちは、お客様からのニーズを原点に、培ってきた技術を究め、融合させることで、価値ある製品を広く提供し、持続可能な社会の実現に貢献し続けていきます。

## 私たちのビジョン

キラリと光る、価値ある企業グループ

社員一人ひとりが自分の仕事に自信と誇りを持ち、成長を実感しながら、関わる全ての人の満足度を追求することで、社会においてキラリと存在感が光る、価値ある企業を目指します。

## 私たちが大切にしている価値観

誠実であること  
Sincerity

奉仕すること  
Service

協力すること  
One-NCI

創造すること  
Innovation



代表取締役社長  
杉山 孝久

## 「キラリと光る、価値ある企業グループ」を目指して

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社グループ第124期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業概況につきましてご報告申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、コロナ禍での移動制限が多く、多くの国で緩和され、経済活動の再開が進みました。しかしながら、資源や原材料の価格高騰の長期化、インフレ抑制に向けた世界的な金融引き締め、中国での新型コロナウイルス感染症再拡大による経済活動停滞の影響などにより、景気減速感が強まりました。

当社グループの事業では、電子・機能製品がコロナ特需の収束に伴う、液晶パネル向けやパソコン、サーバー、通信機器などの電子部品向け製品の出荷減少により減販となりました。また、フィルム・シート製品は欧米でのインフレに伴う自動車販売台数の減少により、自動車向け製品の出荷が減少したものの、東南アジアでのコロナ禍からの回復に伴う、二輪車向けの出荷が好調に推移し、増販となりました。

このような状況のもと、当社グループの当連結会計年度の経営成績は、売上高は44,008百万円と前期比

2,995百万円(6.4%)の減収、営業利益は電子部品向け高付加価値品の出荷減少による影響が大きく1,261百万円と前期比1,931百万円(60.5%)の減益、経常利益は、1,902百万円と前期比2,152百万円(53.1%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は、減損損失の計上などにより、332百万円と前期比1,597百万円(82.8%)の減益となりました。

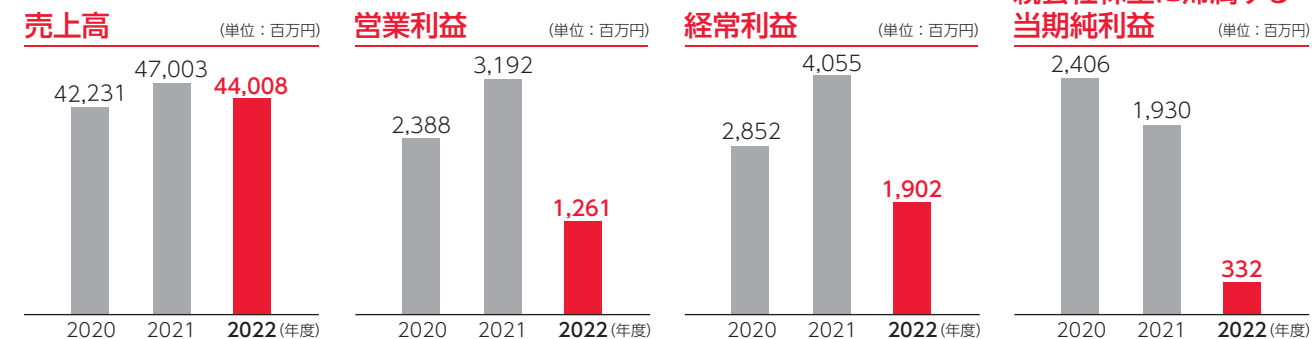
2023年度の経済環境は、インフレの抑制に向けた世界的な金融引き締めの長期化や、ロシア・ウクライナ情勢の悪化などの地政学リスクなどにより、世界経済の成長率は2022年度と比較して鈍化する見込みであり、引き続き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、通期の連結業績につきましては、売上高48,500百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,400百万円を見込んでおります。

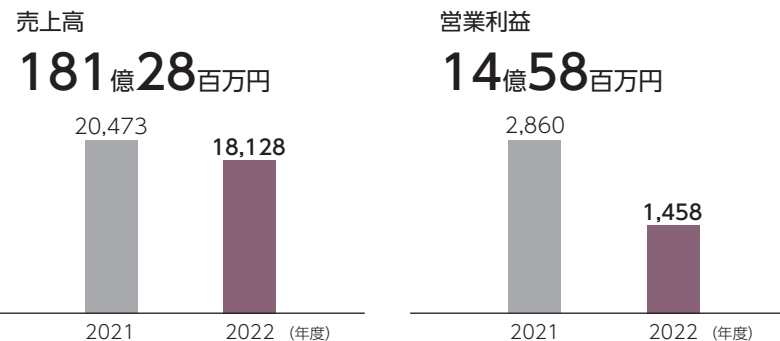
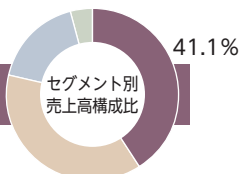
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月

## 業績ハイライト



電子・機能製品



主な取扱製品  
機能化学品／機能樹脂／電子素材

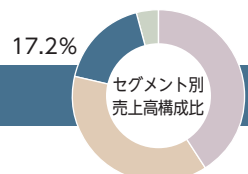


機能化学品

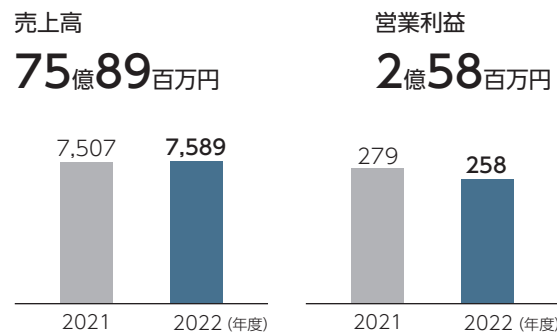
当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品や医薬品原薬、医農薬中間体などの機能化学品、粘・接着剤などの機能樹脂、半導体用金型クリーニング材やセラミック基板などの電子素材であります。

機能化学品は、半導体向け製品の出荷が堅調に推移したものの、新型コロナPCR検査薬向け製品の出荷減少などにより医薬品原薬の出荷が減少し、前期比減収減益となりました。機能樹脂は、液晶パネル関連の市況回復の遅れにより光学関連分野向け粘・接着剤の出荷が減少し、前期比減収減益となりました。電子素材は、コロナ特需の収束に伴うパソコンやサーバー、通信機器などの電子部品向け高付加価値品の出荷減少に加え、世界的なインフレによる景気低迷により汎用セラミック基板の出荷が減少し、前期比減収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は18,128百万円と前期比2,344百万円（11.5%）の減収、セグメント利益は1,458百万円と前期比1,401百万円（49.0%）の減益となりました。



建材関連



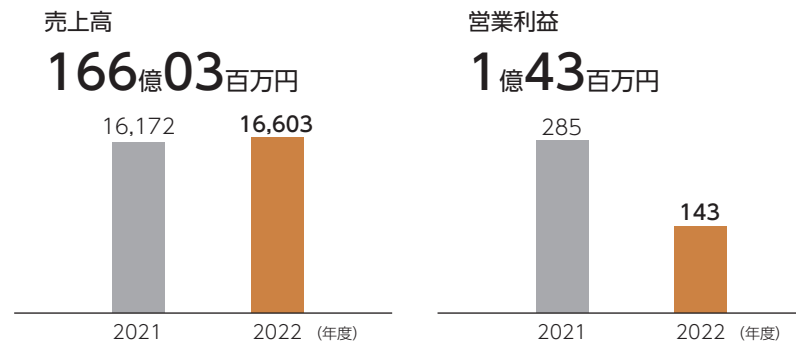
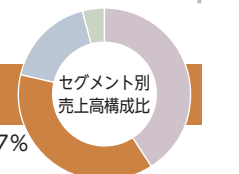
主な取扱製品  
ビル・住宅用アルミ建材／内装建材用プラスチック押出製品

当該事業の主な取扱製品は、住設用押出成形品や住宅用アルミ建材、高強度・高機能手摺などです。コロナ禍の影響で遅れていたマンション建設工事が進展したことでビル用アルミ建材の売上が増加し、当セグメントの売上高は7,589百万円と前期比82百万円（1.1%）の増収となりました。セグメント利益はアルミ地金価格高騰の影響もあり、258百万円と前期比20百万円（7.4%）の減益となりました。



高強度・高機能手摺

フィルム・シート製品



主な取扱製品  
フィルム／ステッカー／再帰反射シート\*



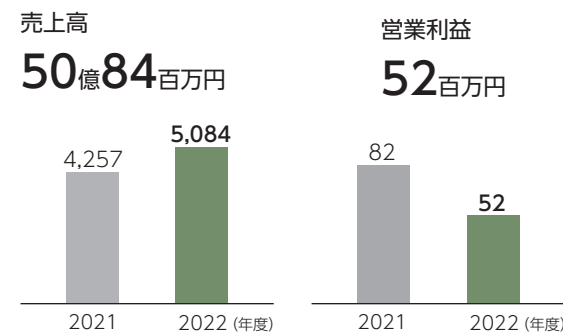
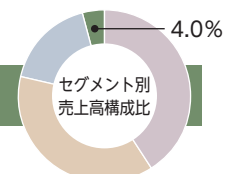
フィルム

当該事業の主な取扱製品は、フィルム、ステッカー、再帰反射シートなどです。

フィルムは、自動車向けや看板向けなどの国内需要の回復が遅れ、前期比減収減益となりました。ステッカーは、コロナ禍からの回復に伴い、東南アジアでの二輪車向けの出荷が増加し、前期比増収増益となりました。再帰反射シートは、欧米でのインフレに伴う自動車販売台数の減少によりナンバープレート向けの出荷が減少し、前期比減収減益となりました。

以上により、当セグメントの売上高は16,603百万円と前期比430百万円（2.7%）の増収、セグメント利益は143百万円と前期比142百万円（49.8%）の減益となりました。

エンジニアリング



主な取扱製品  
産業プラントの設計・施工・設備

当該事業の主な内容は、鉄鋼・化学・電力・環境分野の産業プラントの設計・施工・設備やカーボンニュートラルトランジション設備などです。

グループ会社向け大型設備工事案件の完工により売上が増加し、当セグメントの売上高は5,084百万円と前期比827百万円（19.4%）の増収となりました。セグメント利益は受注構成の変化などにより、52百万円と前期比29百万円（36.1%）の減益となりました。



高圧吹込試験設備

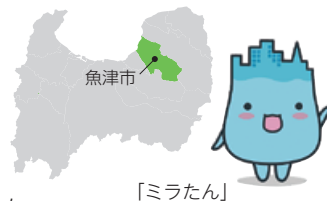
## 魚津市 教育委員会へ「ミラたん」反射シールを贈呈

当社では交通安全に対する地域貢献の一環として、約10年前から富山県東部の8市町村の小学校の新一年生を対象に反射シールを配布しています。

今年は魚津市のイメージキャラクターである「ミラたん」の反射シールを併せて贈呈しました。

当社の長谷川取締役から山瀬教育長へ反射シールを贈呈する旨の目録を手渡し、「新一年生の交通安全に当社製品を役立てたいと思い贈呈します」と伝えると、教育長から御礼とともに「10日の入学式の日に児童へ配布します」と回答がありました。

式典の様子は北日本新聞、読売新聞、北陸中日新聞各社のほか、魚津市のケーブルテレビ NICE TVにも取材されました。キャラクターシール贈呈の取り組みは保護者や児童の反応を見て、来年度はほかの市町村へも展開する予定です。



魚津市教育委員会の山瀬教育長（左）と長谷川取締役

### 再帰反射シート

光が入った方向に再帰反射する、再帰反射シートです。夜間でもヘッドライトなどに照らされると明るく浮かび上がるため、道路標識やナンバープレートなど様々な場所で安全を守るために活躍しています。



## ビニフレーム工業株式会社の「LED笠木」がグッドデザイン賞を受賞

当社の主要子会社であるビニフレーム工業株式会社の「LED笠木」が、2022年度グッドデザイン賞を受賞しました。この「LED笠木」は、同社のビル用笠木「ライトコーピングシリーズ」のアルミ笠木にLED照明を内蔵し、光の意匠を加えたもので、同社が不二サッシ株式会社、株式会社遠藤照明の協力を得て開発しました。

笠木に専用パーツでライン照明を下向きに内蔵することで、眩しさを感じさせず効果的に外壁を照らします。従来の笠木の機能はそのままに、建築物を光で縁取り、アイキャッチとしての役割を持たせることで、「LED笠木」は夜間景観に新たな彩りを添えてくれます。

審査員からは「従来の笠木の役割はそのままに、建物を美しく光で飾ることで建物の美化を高めている点を評価した。製品精度も高く、配光への配慮が美しい外観を作り出す製品となっている。無理なく無駄なく建築物の美観へ貢献しており、建築現場で労力の削減に対する貢献度も高い。」と評価されました。

詳しくは同社のホームページの以下リンクをご覧ください

[https://www.vinyframe.co.jp/aim/building/led\\_kasagi.html](https://www.vinyframe.co.jp/aim/building/led_kasagi.html)



## 卵の殻から生まれたバイオマス食器「シェルミン」がグッドデザイン賞を受賞

当社のお客様であるヤマト化工株式会社の新製品バイオマス食器「シェルミン」は、当社の開発した原料と鶏卵の殻50%以上を使用して作られています。卵の殻を再利用することで、二酸化炭素の排出を40%削減できることや、環境に配慮された製造工程やリーズナブルな価格などが評価されグッドデザイン賞を受賞しました。

「シェルミン」には1枚の平皿に約10個分の卵の殻が使用されており、通常のメラミン食器よりも重く、陶器のような質感もあります。また、プラスチックではないため、一般のごみとして処理することができます。日本で排出される卵の殻は年間25万tとも言われており、その大部分は廃棄されています。当社は、廃棄物の活用とともに、脱プラスチック及び循環型社会の実現に、技術の力で貢献してまいります。

※「シェルミン」は株式会社アクティスの登録商標（商標登録第6418984号）です。また、一般社団法人日本有機資源協会が認定するバイオマスマーク55(NO.200237)を取得しています。



詳しくは以下外部リンクをご覧ください

<https://adumi-sangyo.co.jp/shellmine/project/>

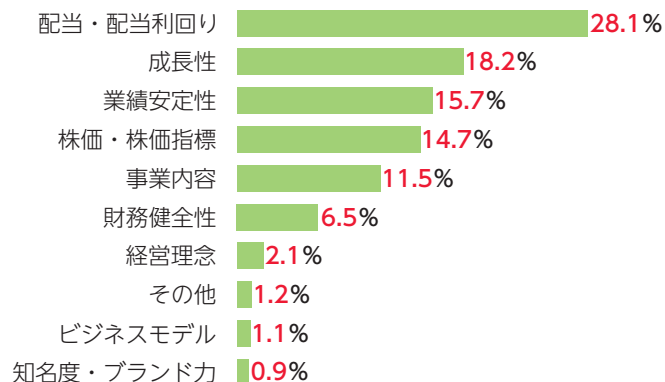
グッドデザイン賞を受賞した  
バイオマス食器「シェルミン」

## 株主アンケート結果ご報告

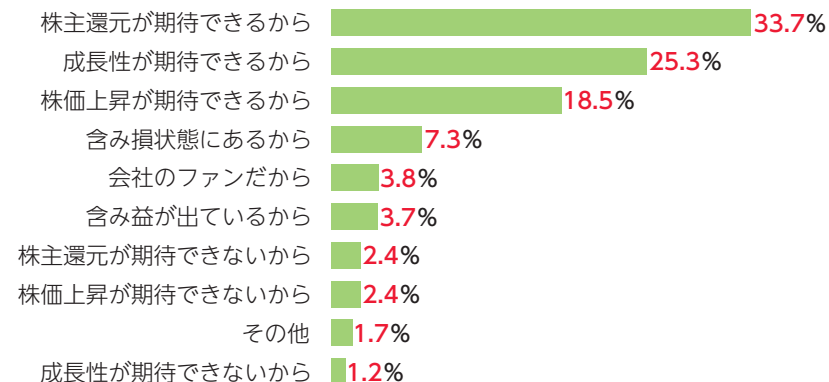
当社グループは、IR（投資家向け広報）活動の一環として、株主の皆様とのコミュニケーション促進を図るべく、アンケートを実施させていただいております。2022年12月のアンケートにおきましては、1,673名の株主様よりご回答をいただきました。

貴重なご意見・ご要望は、今後のIR活動及び株主通信作成の参考にさせていただきます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

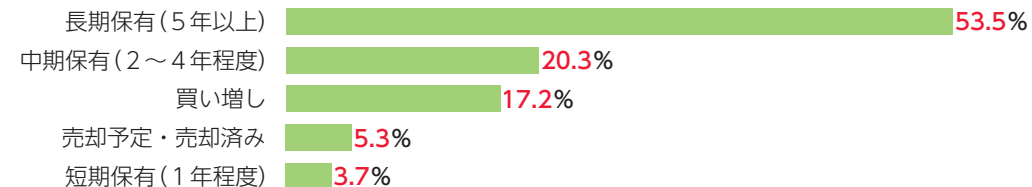
### Q1 当社株式取得時に重視したことをお聞かせください。(複数回答)



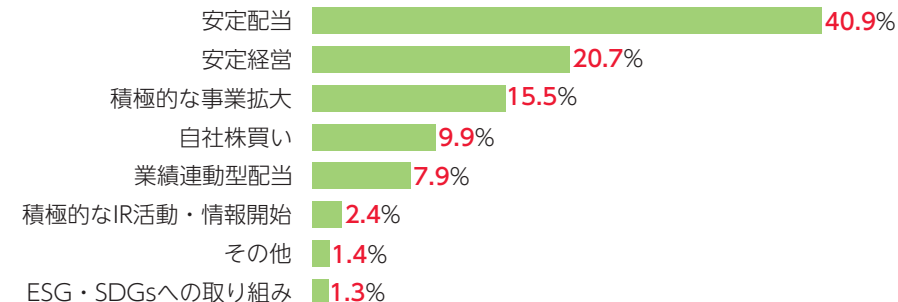
### Q2 保有方針選択の理由をお聞かせください。



### Q3 当社株式の今後の保有方針をお聞かせください。(複数回答)



### Q4 当社に最も期待することをお聞かせください。



### Q5 当社へのご意見・ご要望等がございましたら、ぜひお聞かせください。



電子・機能製品事業を中心に多角化を目指している貴社のビジネスモデルは、必ずや激動のインフレ時代をも乗り越えていけるものと期待しております。

**男性40代 会社員・公務員**



株主通信に株主還元の姿勢等を記載していただきたいです。また、アンケート結果等もあると良いと思います。

**男性20代以下 会社員・公務員**



キャッチフレーズの技術力向上、新製品開発で、日本カーバイド工業にしかできない製品を目指していただけると嬉しいです。

**70代 主婦・主夫**



今後も安定配当を継続していただきたいです。応援しています。

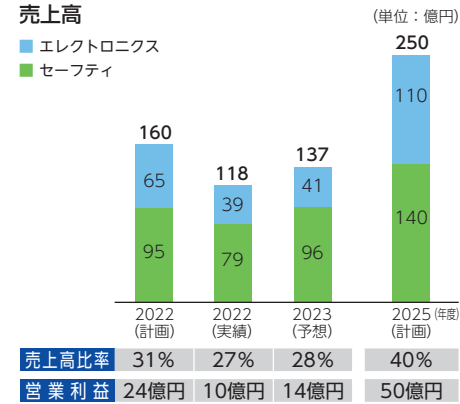
**男性50代 会社員・公務員**

中期経営計画 成長イメージ

戦略市場分野業績

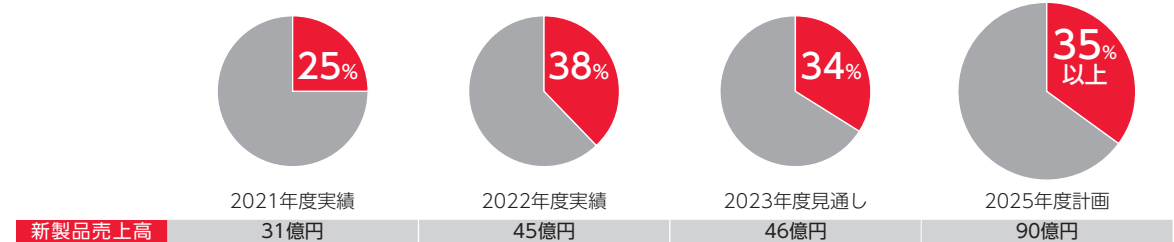
2022年度のエレクトロニクス戦略市場での売上高は65億円の計画に対して39億円、セーフティ戦略市場での売上高は95億円の計画に対して79億円、戦略市場全体での売上高は160億円の計画に対して118億円となりました。総売上高に占める戦略市場全体での売上高比率は27%です。戦略市場全体での営業利益は10億円となりました。

2023年度においては、エレクトロニクス戦略市場での売上高は41億円、セーフティ戦略市場での売上高は96億円、戦略市場全体での売上高は137億円、総売上高に占める戦略市場全体での売上高比率は28%となる見込みです。戦略市場全体での2023年度営業利益は14億円となる見込みです。2025年度に戦略市場分野全体として売上高250億円、営業利益50億円の達成を目指します。



戦略市場分野新製品比率

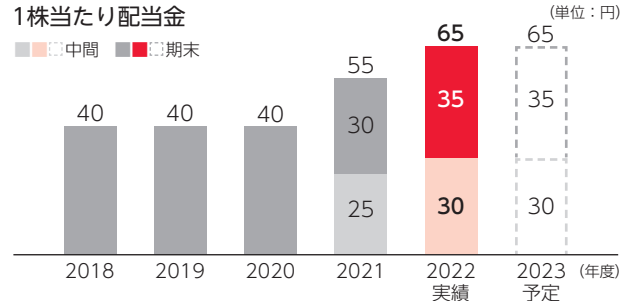
当社グループでは、戦略市場分野を中心とした新製品開発を推進しています。戦略市場分野での売上高に占める新製品の比率は、2021年度は25%、31億円の売上高、2022年度は38%、45億円の売上高となりました。2023年度には34%、46億円の売上高を計画しており、2025年度には35%以上、90億円の売上高を目指します。



株主還元方針

当社は、将来の成長に向けた事業展開を推進し、経営環境の変化に迅速に対応できる企業に転換していくとともに、株主の皆様への利益配分を重要な責務と考え、配当性向30%以上を目途に、長期安定的な配当を実現することを基本方針としております。

2023年度の配当金につきましては、上記基本方針並びに今後の事業展開及び内部留保等を総合的に勘案し、1株当たり30円の中間配当金を含め、1株当たり65円の年間配当金とさせていただきます。



会社の概要 (2023年3月31日現在)

社名	日本カーバイド工業株式会社
設立	1935年(昭和10年)10月
資本金	7,789,101,730円
本営業所	東京都港区港南二丁目16番2号
工場	富山県: 魚津市、滑川市 京都府: 向日市 富山県: 滑川市
研究所	富山県: 滑川市
従業員数	連結 3,322名 単体 524名

役員 (2023年6月29日現在)

代表取締役社長	杉山孝久
代表取締役	井口吉忠
取締役	長谷川幸伸
取締役	横田祐一
取締役(社外)	白井均
取締役(社外)	吉岡早月
常勤監査役(社外)	久保英昭
常勤監査役(社外)	林文明
監査役(社外)	江見睦生

国内・海外拠点のご紹介 (2023年3月31日現在)

海外主要連結子会社

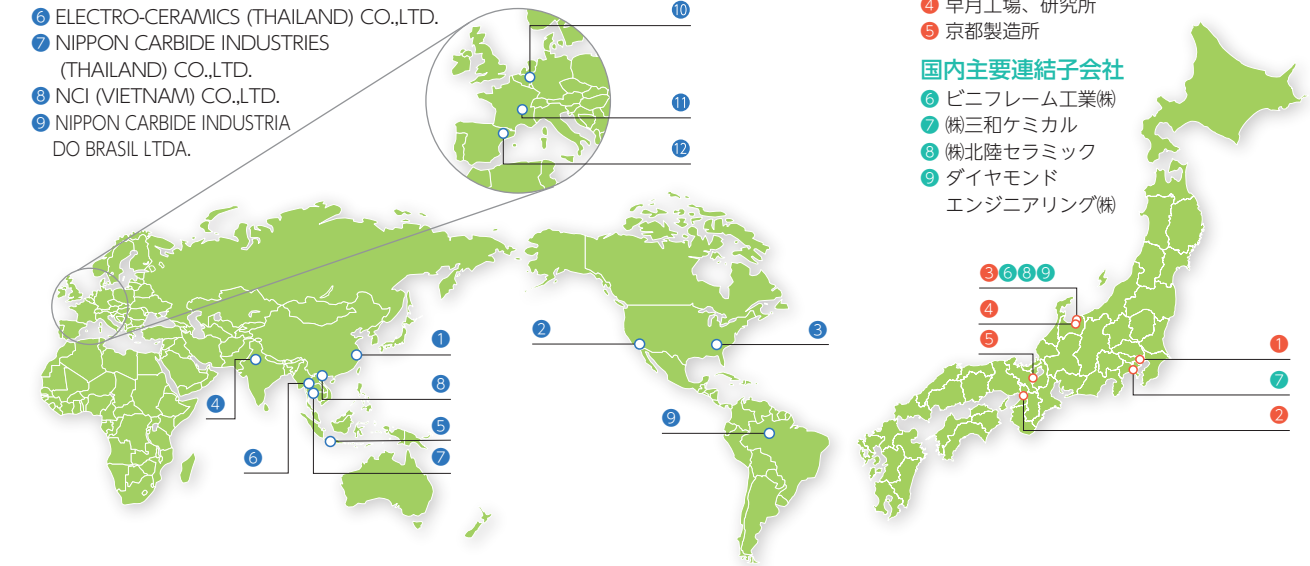
- ① 恩希愛(杭州) 薄膜有限公司
- ② NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (USA) INC.
- ③ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (South Carolina) INC.
- ④ NIPPON CARBIDE INDIA PVT. LTD.
- ⑤ PT NIPPON CARBIDE INDUSTRIES INDONESIA (※)
- ⑥ ELECTRO-CERAMICS (THAILAND) CO.,LTD.
- ⑦ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD.
- ⑧ NCI (VIETNAM) CO.,LTD.
- ⑨ NIPPON CARBIDE INDUSTRIA DO BRASIL LTDA.
- ⑩ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES (NETHERLANDS) B.V.
- ⑪ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES FRANCE S.A.S.
- ⑫ NIPPON CARBIDE INDUSTRIES ESPAÑA S.A.U.

当社国内事業所

- ① 本社
- ② 大阪営業所
- ③ 魚津工場
- ④ 早月工場、研究所
- ⑤ 京都製造所

国内主要連結子会社

- ⑥ ビニフレイム工業(株)
- ⑦ (株)三和ケミカル
- ⑧ (株)北陸セラミック
- ⑨ ダイヤモンドエンジニアリング(株)



※ ⑤ PT ALVINY INDONESIAは、2023年1月1日付で、商号をPT NIPPON CARBIDE INDUSTRIES INDONESIAに変更いたしました。

# 株式情報

## 株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 ..... 12,000,000株

発行済株式の総数 ..... 9,406,826株

(注) 当社は、取締役(社外取締役を除く)4名、執行役員5名に対して譲渡制限付株式の付与のため、2022年7月25日付で普通株式12,797株を発行いたしました。

株主数 ..... 10,132名(前期末比3,582名増)

## 株主 (上位10名の株主の状況)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	793	8.44
デンカ株式会社	409	4.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	354	3.77
榊原三郎	280	2.98
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	196	2.09
有限会社マスター	193	2.05
岩崎泰次	155	1.65
榊原幸子	150	1.60
INTERACTIVE BROKERS LLC	134	1.43
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	131	1.40

(注) 1.持株比率は自己株式(7,168株)を控除して計算しております。  
2.千株単位の記載株式数は、千株未満切り捨てにより表示しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿 管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 公告掲載URL <a href="https://www.carbide.co.jp/">https://www.carbide.co.jp/</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 当社ホームページのご案内▶

ホームページアドレス

<https://www.carbide.co.jp/>



表紙写真 夏の立山・高山植物の花咲く室堂平より雄山などの山々(富山県立山町)



日本カーバイド工業株式会社

〒108-8466 東京都港区港南二丁目16番2号  
Tel 03 (5462) 8200 Fax 03 (5462) 8244

UD  
FONT

